

読書活動だより

むすぶ

第55号

平成29年7月27日発行
秋田県教育庁生涯学習課
社会教育・読書推進班

図書館、学校、市町村、様々な機関において、読書の取組が実に多岐にわたって進められています。少しでもその実践を紹介できればと思います。

学校図書館活性化支援による学校訪問

魅力的な学校図書館づくりが進められています

昨年度から、県生涯学習課では、学校図書館を訪問し、蔵書管理や配架、展示等の様子を見ながら、図書館運営や読書指導について、担当者と話し合いをしています。今年度はこれまで6校の学校訪問を行いました。どの学校においても、居心地のよい読書スペース、展示・掲示及び配架の工夫、読書イベントの充実等、「読書センター」として魅力ある図書館づくりが進められています。今後は、「学習センター」や「情報センター」としての機能を意識した取組を進めていく必要があることを共有することができました。

小・中学校では読書センターとしての機能の充実が図られています



子どもたちを本へと誘う入口に



テーマ展示の工夫



POPで魅力的に本を紹介



おすすめ本の紹介



新刊本の紹介



階段スペースを有効活用

「読書絵はがき」コンクール

本を読んでイメージした場面を、はがき（はがきサイズの画用紙も可）に、絵で表した作品を募集中です。応募対象者は、幼児から中学生まで。秋田県児童会館宛てに9月29日（金）までです。お届けください。

ただ今
募集中です!!



「ビブリオバトル」を今年度も開催します

今年度もビブリオバトルを県内6会場で開催します。これまでの高校生大会に加え、中学生大会も行います。昨年度までの大会で、高校生の立派な姿を観戦していた中学生からは、是非自分たちも参加させてほしいとの声が多く寄せられておりました。

バトラーがおすすめの本の魅力を語るのを聞いて、一番読みたくなった本を投票で決めます。それぞれの地区大会から、全県大会に出場させる一票を投じてみませんか？

詳細は生涯学習課 HP 等で今後お知らせします。



大型絵本は迫力たっぷり



片付けを手伝う子どもたち

楽しいお話し会とワークショップ

県教育委員会で今年度から展開する「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」の関連事業である「お話し会」が4市町で行われました。午前と午後の二部構成で行われ、午前は、ポプラ社読書アドバイザーの堀玲子氏が、高さ1.6メートル、重さ100キロの大型絵本「おまえうまそうだな」の読み聞かせや、子どもたちのリクエストに応える形での様々な絵本の読み聞かせを行いました。午後は、絵本作家である塚本やすし氏が自身の本を読み聞かせたり、絵本のタイトルにちなんだワークショップを行ったりしました。

6月17日（土）に大館市民文化会館で開催されたお話し会にはたくさんの親子連れが訪れ、情景豊かに語られるお話の世界に引き込まれていました。また、会場では、準備と片付けを手伝う子どもたちの姿が見られ、訪れた方々が「よく頑張っているね。ありがとう」と声をかけていました。

能代市で読書活動推進研修会が行われました



各学校の図書だよりを見合う
図書館担当教諭の方々

5月24（水）、能代市で教育委員会主催の「読書活動推進研修会」が行われました。「不読率0を目指して」のテーマの下、講話に引き続き、図書館担当教諭、学校図書支援員に分かれての情報交換・協議が行われ、熱心な話合いが展開されました。能代市では7月下旬にも、学校図書支援員の方々の研修が行われました。



台帳の書き方について研修する
学校図書支援員の方々

第41回秋田県図書館大会開催

6月6日（火）、県生涯学習センターにおいて、「平成29年度 第41回 秋田県図書館大会」が開催されました。

基調講演は、「学校図書館と公共図書館の連携について」と題して、公益社団法人全国学校図書館協議会理事長の森田盛行氏から、連携の現状及び実際について具体的な事例等を御提示いただきました。

事例発表は、能代市教育委員会及び横手市教育委員会から、市立図書館と学校図書館の連携についての実践紹介がありました。



森田理事長の講演



実践発表の様子



125名の参加者

秋田県教育庁生涯学習課社会教育・読書推進班
URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>